

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第43号

第43週(10月20日～10月26日)

発行年月日:平成15年(2003年) 10月 31日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (43週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (43週)	全国 (43週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	411	6	693
	パラチフス	0	0	29	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	2209	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3	414	6	453
	エキノкокクス症	0	0	16	1	9
	オウム病	0	1	38	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	566	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	94	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	45	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	6	734	6	888
	ツツガムシ病	0	1	152	0	329
	梅毒	0	2	393	4	561
	破傷風	0	1	55	0	105
レジオネラ症	0	1	123	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

\* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.13	0.57	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.63	0.14	2.17	0.25	0.40	0	0	1.50	
感染性胃腸炎	1.25	3.14	2.33	0	0	0	1.00	0	
水痘	0.91	1.14	1.00	1.00	0.60	0.75	0.75	1.00	
手足口病	0.28	0	0.33	0.25	0	0.25	0.25	2.00	
伝染性紅斑	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発疹	0.84	1.00	0.67	0.25	0.60	0.50	1.75	1.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.34	0	0.83	0.25	0.20	0.25	0.25	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 0.2 0.4 0.6 0.8 1 1.2 1.4  
定点当たり患者数

### 3) 今週のトピックス

#### 感染性胃腸炎の発生に増加のきざし 水痘の発生は増加傾向

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、患者報告数はやや増加し、定点当たり患者数(累積)は5.28となっています。また、疾患別では、感染性胃腸炎、水痘、突発性発疹等の定点当たり患者数は増加していますが、A群溶連菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

**A群溶連菌咽頭炎**については、先週の定点当たり患者数 1.09よりかなり減少し、0.63となっていますが、昨年同時期より多くなっています。また、先週、増加していた大津、今津保健所管内の定点当たり患者数は減少していますが、草津保健所管内における定点当たり患者数は2.17と多い状態が続いています。

**感染性胃腸炎**については、大津、草津保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

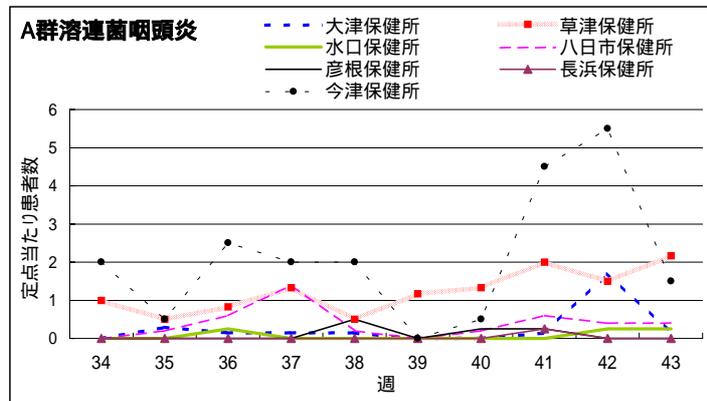
**水痘**については、第1～第35週の定点当たり患者数は0.56～2.47で推移していましたが、第36週に0.25に減少し、第37週から再び増加傾向を示しています。

**マイコプラズマ肺炎**については、先週より減少し、定点当たり患者数は0.29となっています。また、全国における定点当たり患者数は、過去の同時期より多い状態となっているため、今後の発生状況に注意する必要があります。

\* A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の保健所管内別・週別発生状況は下記のグラフのとおりです。

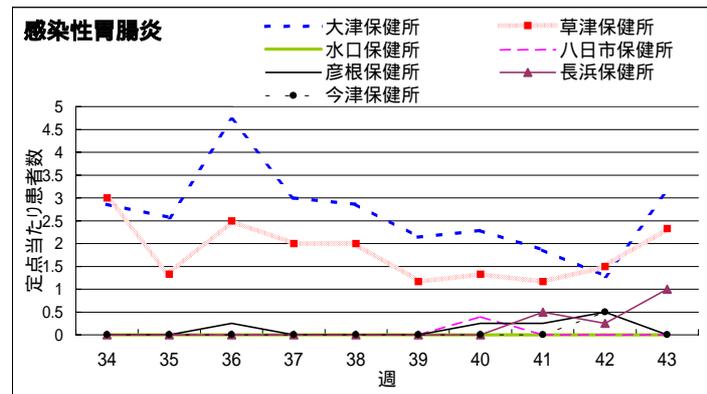
#### A群溶連菌咽頭炎の保健所管内別・週別発生状況(平成15年第34週～平成15年第43週)

今津保健所管内の定点当たり患者数は、多い状態が続いています。  
また、草津保健所管内においては、第39週から増加傾向が続いています。



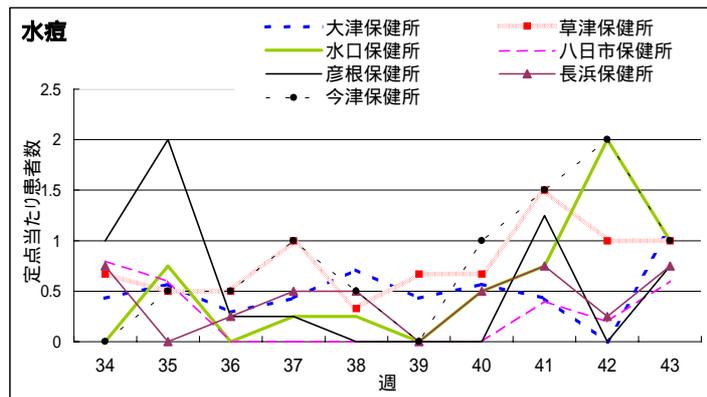
#### 感染性胃腸炎の保健所管内別・週別発生状況(平成15年第34週～平成15年第43週)

大津・草津保健所管内の定点当たり患者数は、他の保健所管内より多くなっており、第42週から増加のきざしがみられます。また、長浜保健所管内においても増加のきざしがみられます。

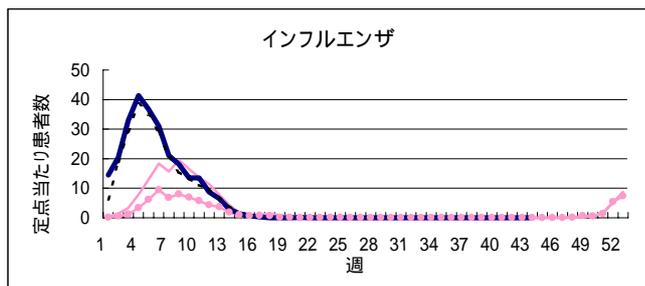


#### 水痘の保健所管内別・週別発生状況(平成15年第34週～平成15年第43週)

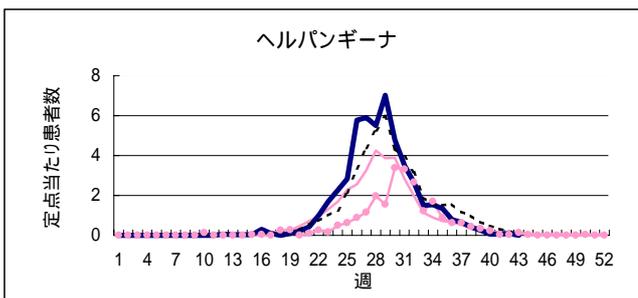
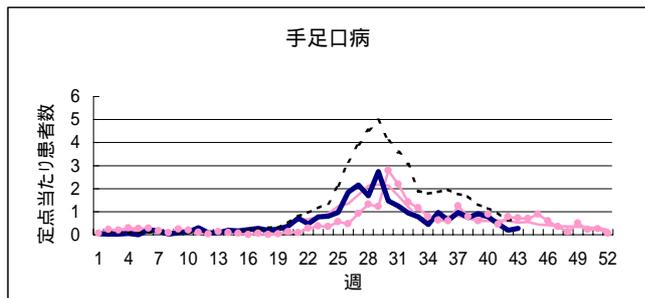
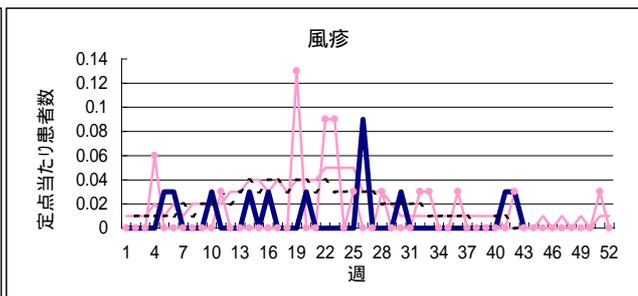
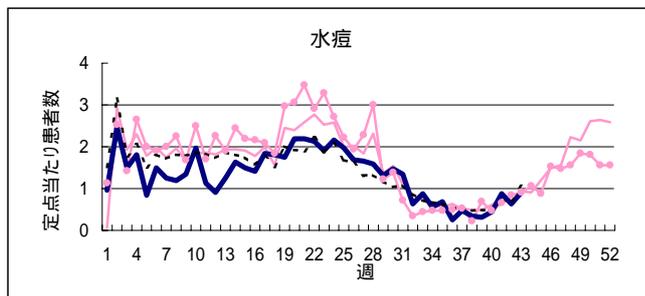
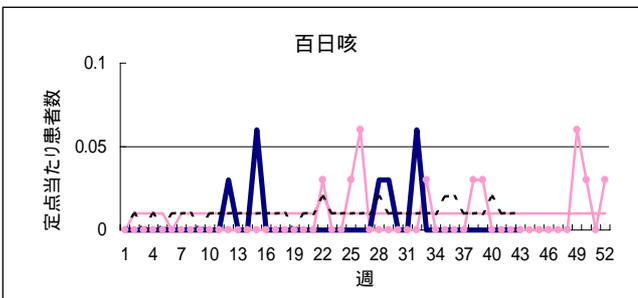
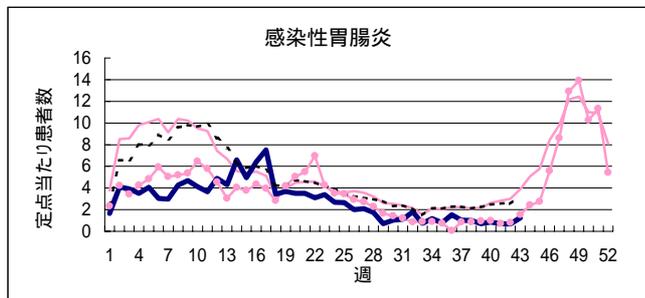
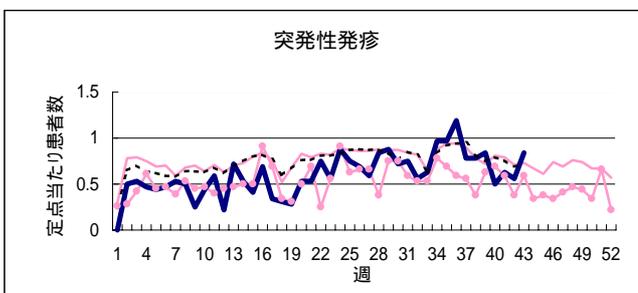
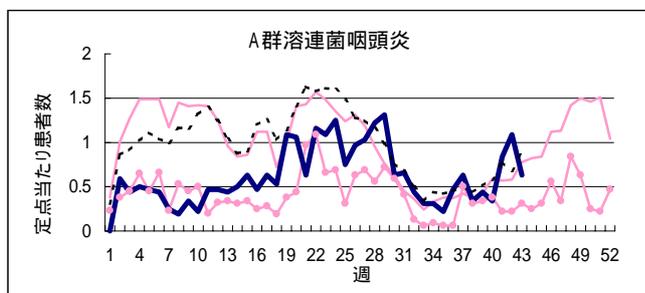
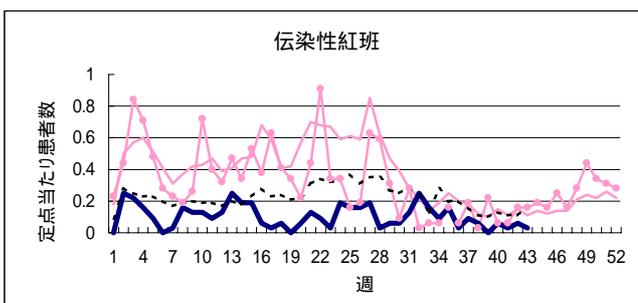
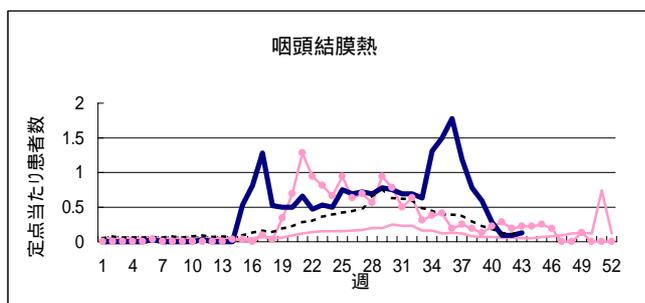
各保健所管内の定点当たり患者数は、第39週、第40週から増加傾向を示しています。



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第43週)



H14 〔 滋賀 (pink solid line) 全国 (pink dashed line) 〕  
 H15 〔 滋賀 (blue solid line) 全国 (blue dashed line) 〕



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第43週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●  
 全国 ○○○○○○  
 H15 〔 滋賀 ————  
 全国 - - - - -

